質問 エバスチン錠 10mg「ケミファ」の無包装状態での安定性は?

エバスチン錠 10mg「ケミファ」の無包装状態での安定性試験を実施した結果、40℃(気密)では、3 ヵ月経 過時点で僅かな類縁物質の増加を認めました。その他の試験項目に際立った変化は認められませんでした。 25℃、75%RHでは、若干の溶出率の低下及び僅かな硬度の低下が認められましたが、その他の試験項目 に際立った変化は認められませんでした。

2500Lux、25℃、45%RHでは、30万 Lux・hr より相対保持時間約 0.25、0.85、1.17 のピークが増加 し、相対保持時間約 0.33 以外のピークの最大及びそれらの合計のピークで規格値を超えました。類縁物質の 増加に伴い、含量が低値を示しましたが、いずれも設定規格の範囲内でした。その他の試験項目は試験開始 時と比較してほとんど差は認められませんでした。

詳しくは添付のデータをご覧ください。

参考資料 【エバスチン錠 10mg「ケミファ」】

回答

安定性に関する資料(無包装安定性試験)